

## AWS(複合気象センサー)パック CPK-AWS

### 概要

- 測定データは内部メモリーに記録されます。計測では、ソーラーを主電源として長期間記録が行えます。データの回収はノート PC で行います。
- 電池電圧を記録できますので、電源電圧モニターが行えます。
- 小型ソーラパネルに充電回路を内蔵していますので、内部はシンプル。電池交換の手間がありません。
- 通信は、携帯電話、2.4GHz 無線通信などに対応

### 特徴

- 複合気象センサー、ケーブル(10m)、データロガー、電源がセットになっており、購入後即、現地で使用開始できます。
- 内部メモリーに記録(CSV)
- PCによるデータ回収(ソフトは付属)
- 日射量など追加可能(オプション)
- 通信装置を加えてテレメータ化することも可能



複合気象センサー  
CVS-WXT530

### 仕様

複合気象センサー部	型式	CVS-WXT530		
	計測項目	測定範囲	測定原理	
	風速	0…60m/s	超音波方式	
	風向	0…360°		
	温度	-52…+60°C	静電容量方式	
	湿度	0…100%RH		
	気圧	600~1100hPa		
	降水強度	0~200mm/h	雨粒衝撃を電圧感知	
	動作温度	-52…+60°C		
	出力	デジタル(SDI/RS-232C)		
供給電源	5…30VDC (ヒーターなし) 12…30VDC (ヒーター付き)			
消費電力 (12VDCにおいて)	3mA(標準出力インターバル時)			



ボックス前面に  
ソーラパネルが  
ついています。

ロガー部	ロガー型式	C-CR300	
	測定分解能	24bitA/D	
	測定、保存間隔	デフォルトは以下(変更可能)	
		サンプリング	10 秒
	保存	10 分	
	設定	時計、インターバルなどの設定は PC にて行う	
	ソーラパネル	12V 系 5-10W	
	電源	7Ah 鉛蓄電池	
	データの記録内容	CSV テキストファイル(カンマ区切り)	
		年/月/日 時:分:秒 RecNo.、データ、内部温度、電圧	
	入力 ch 数	アナログ DIFF 3ch / SE 6ch、電流 2ch SW Pulse 3ch, SDI 1ch DIO:C1,C2	
	内部メモリー	DATA メモリー(フラッシュ)30MB flash	
	記録期間	1 年以上(10 分インターバル保存)	
動作環境	-40°C~+70°C		
ケーブル接続	端子台		
寸法	200W×300H×140Dmm		
データ回収	PC Win7/10 上で動作の PC400 ソフトなど USB 接続		
セット付属品	複合気象センサー(CVS-WXT-530) ケーブル: 10m(接続コネクタ付属) 取付用ポール(30φx0.5m)+デベクランプ(平行取付用 x2) データロガー 鉛蓄電池(7Ah) ソーラパネル(5W) プラスチック収納箱(単管クランプ付) 取扱説明書ソフトウェア(CD)		



内部は、C-CR300と  
鉛電池のみと  
シンプルな構造